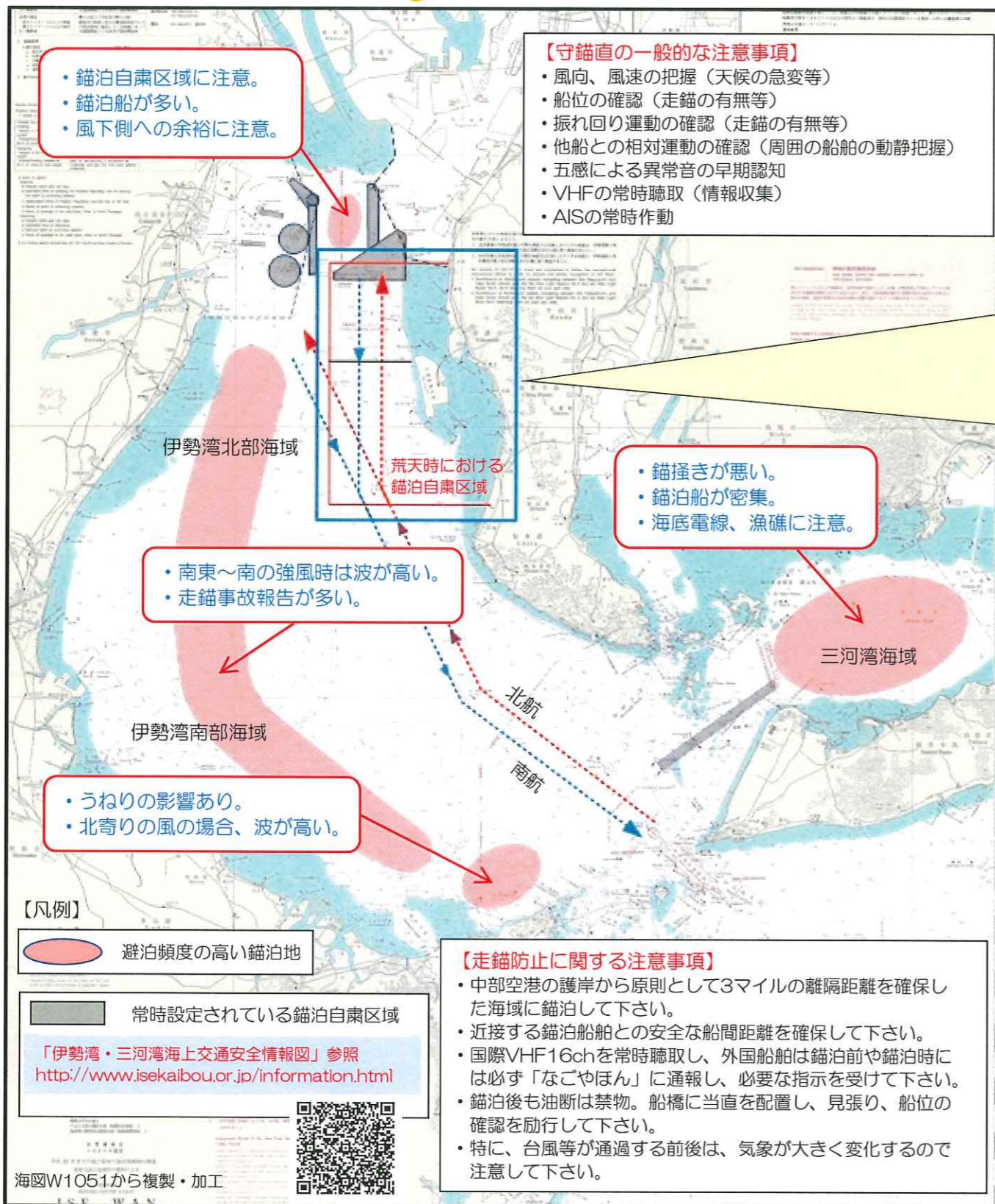




台風避泊サポートマップ〈伊勢湾・三河湾〉



・錨泊自粛区域に注意。
・錨泊船が多い。
・風下側への余裕に注意。

【守錨直の一般的な注意事項】

- ・風向、風速の把握（天候の急変等）
- ・船位の確認（走錨の有無等）
- ・振れ回り運動の確認（走錨の有無等）
- ・他船との相対運動の確認（周囲の船舶の動静把握）
- ・五感による異常音の早期認知
- ・VHFの常時聴取（情報収集）
- ・AISの常時作動

・錨掻きが悪い。
・錨泊船が密集。
・海底電線、漁礁に注意。

・南東～南の強風時は波が高い。
・走錨事故報告が多い。

・うねりの影響あり。
・北寄りの風の場合、波が高い。

【凡例】

○ 避泊頻度の高い錨泊地

■ 常時設定されている錨泊自粛区域

「伊勢湾・三河湾海上交通安全情報図」参照
<http://www.isekaibou.or.jp/information.html>

海図W1051から複製・加工

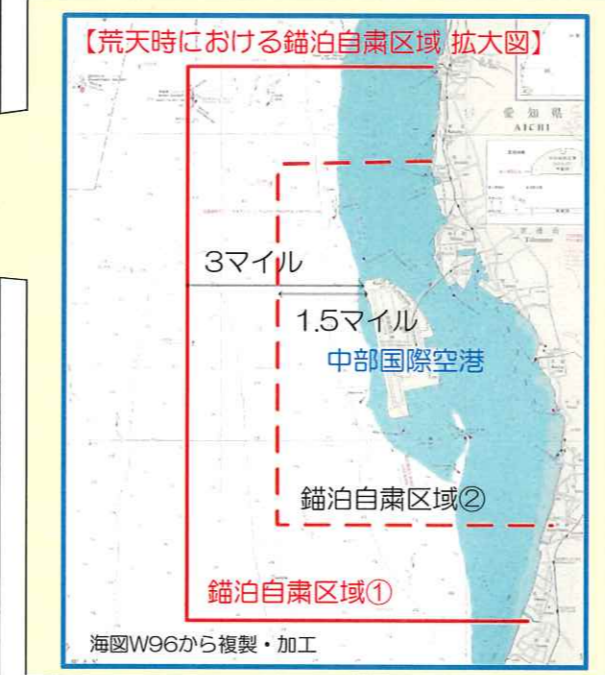
【走錨防止に関する注意事項】

- ・中部空港の護岸から原則として3マイルの離隔距離を確保した海域に錨泊して下さい。
- ・近接する錨泊船舶との安全な船間距離を確保して下さい。
- ・国際VHF16chを常時聴取し、外国船舶は錨泊前や錨泊時には必ず「なごやほん」に通報し、必要な指示を受けて下さい。
- ・錨泊後も油断は禁物。船橋に当直を配置し、見張り、船位の確認を励行して下さい。
- ・特に、台風等が通過する前後は、気象が大きく変化するので注意して下さい。

【荒天時における錨泊自粛区域（空港島～3マイル）】

名古屋港海上交通センターから「走錨注意情報」が提供されている場合、空港島から3マイルの範囲（錨泊自粛区域①）において錨泊の自粛をお願いします。なお、次の条件を全て満たす船舶に限り、空港島から1.5マイル～3マイルの海域では、対象外（錨泊可）となります。

- ・錨鎖の伸出量が適切である。
- ・守錨直を配置し、船位確認及びVHF聴取を行っている。
- ・AISを適正に使用し、海上交通センターにおいて錨泊を確認できる。
- ・走錨した場合、直ちに揚錨し、機関を使用できる体制である。



※「中部国際空港の周辺海域における荒天時の錨泊自粛について」参照
<https://www.kaiho.mlit.go.jp/O4kanku/safety/rule/002960.html>

【走錨注意情報】

「走錨注意情報」は、名古屋港高潮防波堤中央堤東端において風速12m/sec以上の風が継続している場合、名古屋港海上交通センターからAISメッセージにより送信されるとともに、「なごやほん」を通じてVHF無線により放送されます。

【走錨注意情報の入手先】

名古屋港海上交通センター
Tel: 052-398-0712
<http://www6.kaiho.mlit.go.jp/nagoyako/>

【気象情報等の入手先】

気象庁台風情報
URL: <http://www.jma.go.jp/typh/>

海上保安庁「海の安全情報」
URL: <http://www6.kaiho.mlit.go.jp/>

URL: <https://www6.kaiho.mlit.go.jp/sp/index.html> (スマートフォン)

海上保安庁

【荒天時錨泊自粛区域内の錨泊船に対する情報提供（警告）】

中部国際空港周辺海域は、強風により走錨した場合、同空港へ衝突する危険性があるため、荒天時には、名古屋港海上交通センターから錨泊自粛区域内の錨泊船に対して、AISメッセージやVHF無線等により情報提供（警告）が行われます。

＜文例1＞ AISメッセージ

WARNING: YOU ARE IN THE SELF RESTRAINT ANCHORING AREA WITHIN 3MILES FROM THE CHUBU CENTRAIR AIRPORT. KEEP CLEAR.
(警告; 貴船は、中部国際空港の3マイル以内の錨泊自粛区域にいます。避けてください。)

＜文例2＞ VHF無線等

WARNING, YOU ARE IN THE SELF RESTRAINT ANCHORING AREA WITHIN 1.5MILES FROM THE CHUBU CENTRAIR AIRPORT. RISK OF COLLISION WITH THOSE BY STRONG WIND. KEEP CLEAR.
(警告; 貴船は、中部国際空港の1.5マイル以内錨泊自粛区域にいます。強風によるこれらへの衝突の危険があります。避けて下さい。)

【伊勢湾・三河湾で走錨の危険性が高くなる台風の経路】

- 台風が伊勢湾の西方を通過する場合
伊勢湾・三河湾が右半円となり、風向は伊勢湾・三河湾とも南東から西に変化し、風速は最接近時に最大に達する。波高は伊勢湾北東部海域で最大となる。
- 台風が伊勢湾中央部を北東方向に通過する場合
伊勢湾の直上を通過し、三河湾では右半円となる。風向は台風通過後に伊勢湾・三河湾とも南東から西北西に反転し、風速は伊勢湾より三河湾の方が強い。波高は湾口部を除き、伊勢湾中央部付近が最大となる。
- 台風が伊勢湾の南方を通過する場合
伊勢湾・三河湾が左半円となり、台風最接近時に風向は南東から北西に急反転する。風速は台風の最接近時に一旦弱まるが、その後の吹き返しは通過前より強くなるので注意を要する。波高は伊勢湾口付近が最大となる。

このマップは、令和元年度「伊勢湾・三河湾における台風避泊に関する調査研究」特別専門委員会において作成されたものです。（2019/9 公益社団法人伊勢湾海難防止協会）